

現在、婦人科では、「人工知能を用いた卵巣癌のMRI診断の有効性を検討する探索的研究」に関する研究を行っています。今後の診断・治療・管理に役立てることを目的に、当院で2004～2018年に治療・管理を受けた卵巣癌の患者さんの診療情報などを利用させていただきます。診療情報などがこの研究で何のために、どのように使われているのかについて詳しく知りたい方は、下記の窓口にご連絡ください。

**1. 研究課題名** 「人工知能を用いた卵巣癌のMRI診断の有効性を検討する探索的研究」

**2. 研究の意義・目的**

手術前に卵巣癌の診断のためにおこなわれたMRI画像を、人工知能を用いて卵巣がんの組織型を推定できるかを検討します。この研究をおこなうことにより、今後の卵巣がんの患者さんが治療前に診断される際に、人工知能を導入できようになるかもしれません。

**3. 研究の方法**

2004年～2018年に千葉大学医学部附属病院婦人科で卵巣癌のため術前にMRI検査がおこなわれた103人の患者さんを対象にしています。画像データは日本アイビーエム社幕張営業所（研究代表者：小林俊夫）で解析をおこないます。各患者さんの年齢、がんの組織型、おこなった手術、再発・生存の期間などをカルテ（含む電子カルテ）から調査し、まとめます。研究内容は、学会・学術誌に公表予定です。

**4. 個人情報の取り扱いについて**

MRI画像を日本アイビーエム社で解析を行う際には、MRI画像に関する個人情報はコード番号などで匿名化され、報告書等でその患者さんのものであると特定されることがないようにになっています。個人情報が外部に洩れることのないように厳重に管理します。研究成果の発表にあたっては、患者さんの氏名などは一切公表しないこととします。データ等は、千葉大学医学部附属病院産婦人科臨床研究室の鍵のかかる棚で保管します。

**5. 研究に診療情報などを利用して欲しくない場合について**

ご協力頂けない場合には、原則として結果の公開前であれば情報の削除などの対応をしますので、下記の窓口にご遠慮なくお申し出ください。

文部科学省・厚生労働省による「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」に基づいて掲示を行っています。

研究実施機関 : 千葉大学大学院医学研究院生殖医学  
千葉大学医学部附属病院婦人科  
日本アイビーエム社（代表者：Elly Keinan）

本件のお問合せ先 : 千葉大学大学院医学研究院生殖医学  
医師 楯 真一  
043（226）2121 内線 5314

